

平成 27 年度ノッサル高校派遣プログラム参加生徒事後アンケート集計結果

教務部国際交流推進室

ノッサル高校訪問について以下の質問について該当する個所に✓を記入してください。(回収数 14)

A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

	A	B	C	D
計画全体に関する質問				
1 実施時期（8月22日～9月2日）は適切だった。	7	5	2	0
2 ホームステイ7泊は適切な日数であった。	9	3	2	0
3 ノッサル高校訪問4日間は適切な日数であった。	8	4	2	0
4 フィリップアイランドの1日遠足は有意義だった。	14	0	0	0
5 ホームステイは有意義な経験だった。	14	0	0	0
6 歓迎式典は有意義な行事だった。	9	4	1	0
7 日本語授業への参加は有意義な経験だった。	13	1	0	0
8 音楽会でソーラン節発表を行ったことは有意義な経験だった。	13	1	0	0
9 フェアウェルパーティーは有意義な行事だった。 (無回答1)	12	1	0	0
10 ホストファミリーと過ごす時間は有意義（楽しい時間）だった。	14	0	0	0
シドニー研修について				
11 2泊3日は十分な日数であった。	9	3	2	0
12 見学地（ブルーマウンテン）の選択は適切だった。	14	0	0	0
13 見学地（シドニー市内）の選択は適切だった。	11	3	0	0
14 ホテルは安全面・衛生面等から考えて適切だった。	10	3	0	1
15 食事場所（フードコート）の選択は適切だった。 (無回答1)	8	5	0	0
ノッサル高校について				
16 交流校として適切だった。 (無回答1)	13	0	0	0

※上記の設問について感想や意見を自由に記述してください。項目と関連がなければ番号を「0」としてください。

番号を記入	感想・意見等 (HS:ホームステイ HF:ホストファミリー)
期間、高校訪問	夏休み中に実施してほしい。(3)/ 期間が短かった(2) / 4日間のうちの1日を課外授業としてホームレスの人々に食料配布する活動に参加し、貴重で素晴らしい経験となった。 / 授業は少人数制で教科も自分で選択という自由な形で、生徒たちは積極的に発言していた。
ホームステイ	1人のHSに不安はあったが1週間の後半には英語が聞き取れるようになりうれしかった。英語だけでなく、多くの事を体験できてよかった。HFがとてもあたたかく迎えてくれた。日豪の習慣の違いに興味をもった。/ 中国では食事を残すことが礼儀だと知らずに頑張って食べてしまった。断る方法を身に付けておくべきだった。/ ホスト生徒以外の家族と話すときには日本語を一切使えなかったのが英語が通じる喜びを感じることができた。
日本語授業等	ノッサル生徒の日本語学習に刺激を受け英語学習に励もうと思った。/ もっと日本について知らなければと思った。/ ノッサル生徒が勉強に意欲的だった。/ 想像以上に日本文化(アニメ等)が好きで驚いた。/ 長高のこと、オーストラリアのこと、日本のことの全てを英語で話すのは大変だったが、ノッサル生徒がゆっくりと言葉を選んで話してくれたので楽しかった。
シドニー研修	日本と違う街並み、住人、言葉に触れることができ有意義だった。ホームステイ中にはできなかった自力での買い物も経験できてよかった。/ (フードコートの) 料理を通じても多国籍文化を実感できた。/ 教科書で見た景色を実際に見られてよかった。
全般	・(ノッサル生徒が) 皆優しくしてくれて、一生の宝物となる旅となった。 ・初めて親元から離れて海外に行くことは不安だったが、HFが優しく接してくれて2日目以降は楽しく過ごせた。

全般	<ul style="list-style-type: none"> ・とにかく全部楽しかった。 ・ノッサルの授業のレベルが高いこと、また休み時間は生徒が自由に過ごしていることに驚いた。 ・個性的で面白い生徒がたくさんいた。 ・ホームステイもシドニー研修もどれも楽しく、今までの人生で一番濃い日々だった。 ・HFが素晴らしかったので別れがつかない。また会いに行きたいです。そのためにもっと英語力をつけたい。 ・昨年の受入れ時よりもずっと仲良くなりました。次回も受け入れたい。 ・Book Week Day (本の登場人物のコスチュームで授業を受けるイベント) は刺激的だった。 ・大舞台でソーラン節を踊り、大歓声が聞こえてきたときには達成感を感じた。 ・今回の経験で将来は英語関係の仕事がしたいと感じるようになりました。来年ノッサルのホスト生徒が来日するまでにもっと英語を勉強して、今回以上に会話を長く続けられるようにしたい。ホームステイを通じて自分の中でたくさんの事が変わったと思います。よい経験でした。 ・フィリップ島ではオーストラリア固有の動物をたくさん見ることができて、とても充実した時間だった。ホスト生徒とも仲良くなれたのでよかった。 ・HFがとてもあたたかく迎えてくれたので、またオーストラリアに行きたいと思うほどに良い1週間でした。 ・(今回の経験を通して) ほかにいろいろな国に行ってみてみたいと思った。
引率者	ノッサル高校側の受入れ準備が完全に整っており、到着日の出迎えから出発日の見送りに至るまで小さなトラブルのひとつもなく、穏やかに過ごすことが

◇ 日程ごとの感想及び改善点 (引率者)

日付	日程	今後への改善点等 (引率者)
8/22 (土)	羽田集合出発	
8/23 (日)	シドニー空港到着 乗り継ぎ メルボルン空港到着 ホストファミリーと対面	<ul style="list-style-type: none"> ・入国はパスポートの自動認識による簡易な方法・各自で確認カードを管理すること。
8/24 (月)	◆歓迎式 (1)歓迎の言葉 ノッサル生徒代表 (2)ビデオによる学校紹介 川崎さん多見さん (3)音楽発表 ノッサル生徒2名 (4)長生高校リーダー挨拶 日置江さん村石さん (5)長生高校校歌発表 指揮 板橋さん (6)閉会の言葉 ペイジ校長 ◆授業参加	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチやプレゼンテーションはとても良い出来栄で、ノッサル生徒からの反応も良好であった。 ・長生高校校歌を斉唱した。 ・主に日本語の授業に参加
8/25 (火)	午前中は家庭待機 音楽祭 (ソーラン節演舞)	<ul style="list-style-type: none"> ・会場はモナーシュ大学の講堂 ・帰宅は夜10:30頃。非常に寒かった。
8/26 (水)	フィリップ島へホスト生徒と共に遠足 (バス借り上げ、見学地入場料、食費等 経費すべてはノッサル高校負担。)	<ul style="list-style-type: none"> ・野生動物サンクチュアリ～フィリップ島 ・日没と同時に海から巣に帰るペンギンを観察。 ・夜10:30学校に到着しHFが迎えにくる。
8/27 (木)	平常授業に参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ホスト生徒の授業に参加。
8/28 (金)	本のキャラクターの衣装を着て登校し 平常授業参加	<ul style="list-style-type: none"> ・コスチュームを日本から持参 ・ノッサル生徒は民族衣装等を着用可 ・ホストファミリー宅でBBQパーティー(生徒)
8/29 (土)	ホストファミリーと過ごす	<ul style="list-style-type: none"> ・メルボルン市内見学等に行った生徒多数。
8/30 (日)	空港集合 ホストファミリーとお別れ シドニー研修 オペラハウス等 夕食はフードコート	<ul style="list-style-type: none"> ・ホストファミリーが長生生徒の礼儀正しさや真摯な態度に感動したと引率者に直接伝えてくれた。
8/31 (月)	ブルーマウンテン国立公園 夕食はフードコート	<ul style="list-style-type: none"> ・天候にも恵まれ世界遺産を堪能。 ・各自好きな夕食を購入することができた。
9/1 (火)	シドニー市内観光 (買い物等)	<ul style="list-style-type: none"> ・無料の美術館、教会等を見学後買い物。 ・自由時間はせいぜい2時間程度が適切か。
9/2 (水)	午前5:30羽田着	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の出迎えのない生徒も多かったが、バス等でそれぞれ帰路についた。